

こんにちは ふくま健治です

活動報告ニュース
2016年9月2号

第三回定例市議会

9月1日、市議会は開会しました。私は9月8日に一般質問をおこないました。質問要旨を紹介します。

伊方原発再稼働は中止を

●福間—8月12日、伊方原発3号機が再稼働した。市民からは「原発が稼働する限り、安全などあり得ない」「伊方で事故が起きれば、大分への被害も計り知れない」など、原発再稼働への不安と怒り、抗議の声があがっています。伊方原発の再稼働が強行されたことについての認識は。



(本会議場にて)

企画部長—「新規制基準に適合」「愛媛県・伊方町との安全協定に基づく同意を得ている」など所定の手続きをして、再稼働

したものと認識している。

●福間—伊方原発再稼働への不安は多岐にわたる安全性への認識は、伊方原発再稼働に不安をいただいている大分市民を対象に説明会の実施を。

総務部長—「国の定める新規制基準に適合している、再稼働にあたり四国電力に徹底的な安全性確保を伝えてきた」「市民の不安払しょくのため、説明会開催の要望あれば逐次開催していく」との答弁。



(再質問する福間)

●福間議員は、40年経過した老朽原発まで再稼働させるような新規制基準は、電力会社の経営優先といっても過言ではない。

650ガルの基準地震動では、繰り返す地震に耐えられない。事故などの情報を市民に知らせる体制を、説明会は市が主体的に開催すること。などを再質問し、再稼働の中止を重ねて要求しました。

子どもの貧困対策で提案

●福間—2013年に子供の貧困対策法(子どもの貧困対策の推進に関する法律)が制定された。1、本市のこれまでの「子どもの貧困対策」の到達点について 2、目標値を明記すること。3、「貧困率」などの実態調査を実施することなどを要求しました。



(本会議場全体風景)

福祉保健部長—3番目の質問については、「さまざまな子どもの貧困対策をより効果的で実行性のあるものにするため、調査する内容や対象者などについて検討する」と答弁しました。

●貧困なくす4つの処方箋—①いまある給食室を利用して、子どもたちに朝食を提供するとりくみを ②貧困におかれ、学習意欲をうしなっている子どもへの学習支援を強めること。



③就学援助制度の入学準備金などの単価を大幅引き上げや、クラブ活動費・生徒会費やPTA会費などの

(文部科学省に就学援助改善を要求) 支給を確実に実施すること。④母子家庭の高校三年生が就職のために車の免許取得する貸し付け制度を利用しやすくすること。★就学援助入学準備金の前倒し支給について、車免許取得の貸付制度の見直しは「検討する」と回答。

●中心市街地の小規模駐輪場整備については「その必要性や整備手法について検討する」との回答がありました。

暮らしや地域の要求をお寄せください

ふくま健治生活相談所

大分市東大道3-2-6
546-4505 (FAX兼用)
携帯090-2714-5612

